

CURRENT STATUS

大学生のリアル

就活はオンライン中心に

3月1日に新卒採用の会社説明会が解禁され、2022年春卒の大学生や専門学生らの就職活動が本格的にスタートする。新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、ここ数年続いた学生優位の「売り手市場」がどのように変化するかは未知数な状況だ。従来のセオリーは頼りにで

きず、学生は例年と様変わりした就職活動に臨んでいる。

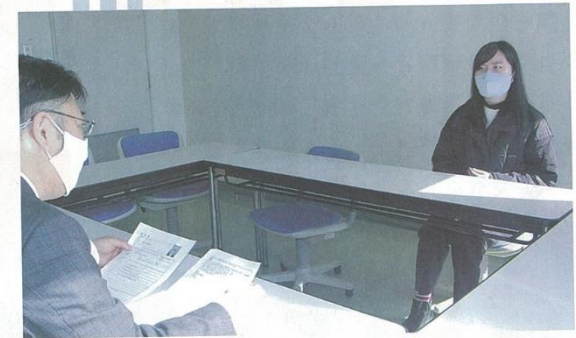
2月25日、八戸学院大のキャンパス内。地域経営学科3年の新谷世怜奈さん(21)が、企業の採用選考を見据えて面接の練習に励んでいた。

希望の業種は服飾関係。八戸市出身だが、アパレル業界は本社が大都市にある企業が多いため、首都圏就職をメインに考えている。景気後退で就職市場が揺らぐ状況を踏まえ、「今から出遅れないように危機感を持って取り組みたい」と話す。

コロナ禍の就活で大きく変わったのはオンライン対応だ。インターンシップや

会社説明会だけでなく、採用選考にリモートを導入する企業も増えた。従来の就活にはない対策が必要になるが、新谷さんは「移動時間や交通費がかからず、気軽にさまざまな会社の説明を聞けるチャンスがある」とメリットも感じている。

ただ、実際の就活現場では、既に選考を始めている企業が数多く存在する。アパレル業界はコロナ禍の打撃を受ける企業も少なくない。そこで、新谷さんが重視するのは“情報収集”だ。「コ



面接の練習に臨む新谷世怜奈さん(右)

ロナ禍の就活は厳しく、情報収集が遅れないように自ら探っていくことが大事だと思う。今年を受験できる企業には可能な限り挑戦したい」と熱意を込めて語る。